

イヌを使った追い払いと防護の技術開発

○ - 技術開発研究の経過とモデル実施の成果 -



兵庫県森林動物研究センター 坂田宏志 石川圭介



先端技術を活用した農林水産研究高度化事業

獣害回避のための難馴化忌避技術と
生息適地への誘導手法の開発

イヌを使ったシカ等野生動物の 追い払いと防護の技術開発

H17、H18

H19

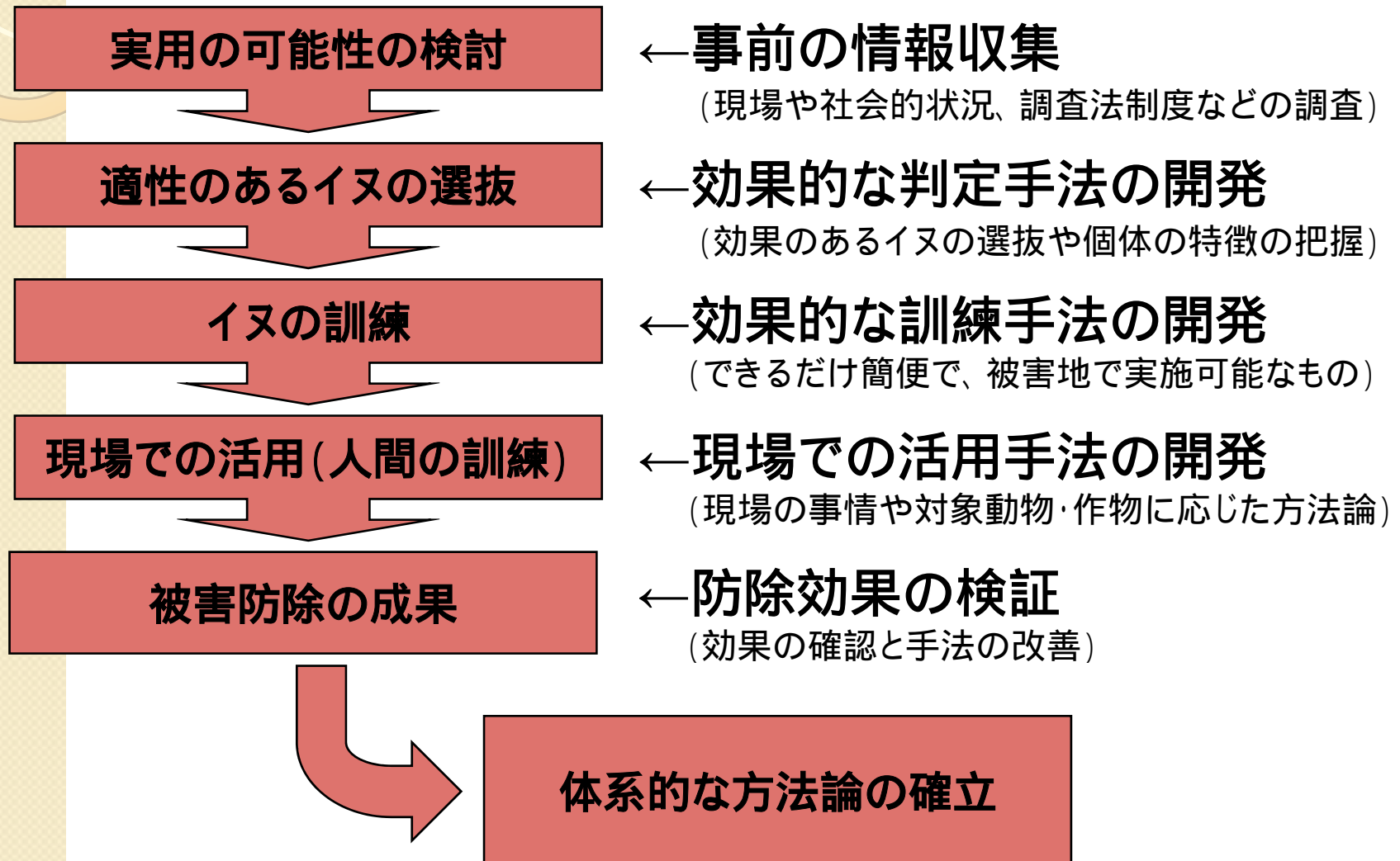
兵庫県立人と自然の博物館 → 兵庫県森林動物研究センター
担当：坂田、石川、横山

犬を活用した獣害防護対策

- 高度な嗅覚や威嚇、追い払いなどの潜在能力を活用 -

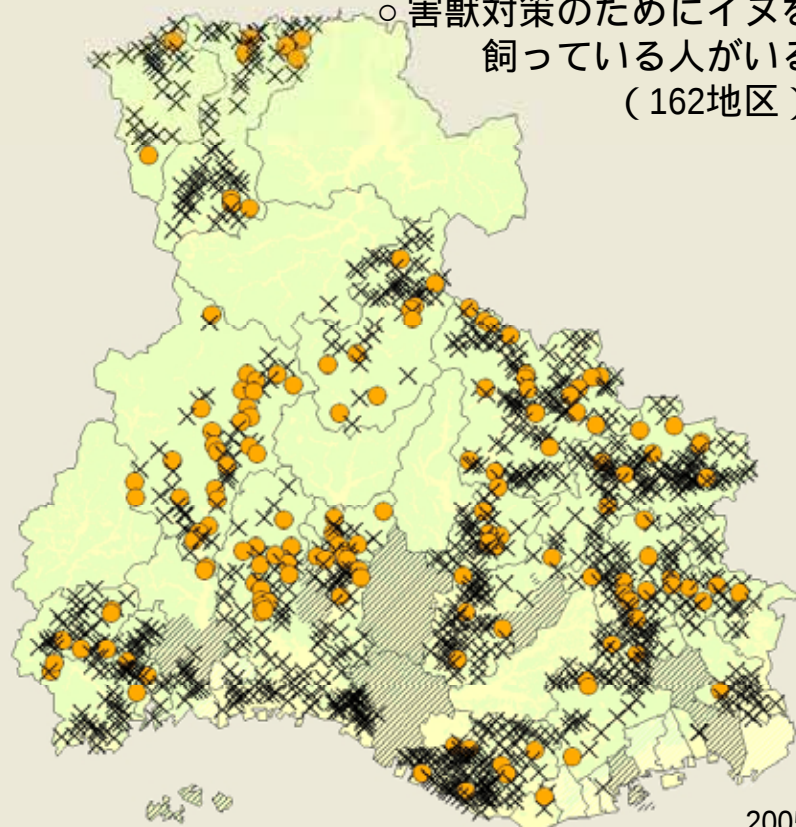


体系的な方法論の確立に向けての 研究計画



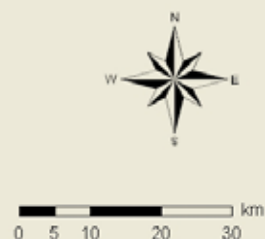
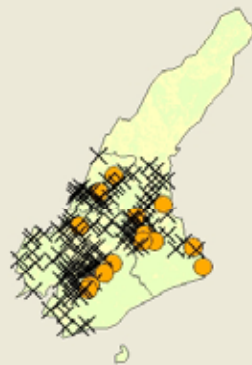
■ 被害対策へのイヌ利用の可能性（事前調査の結果）

○ 害獣対策のためにイヌを飼っている人がある
（162地区）



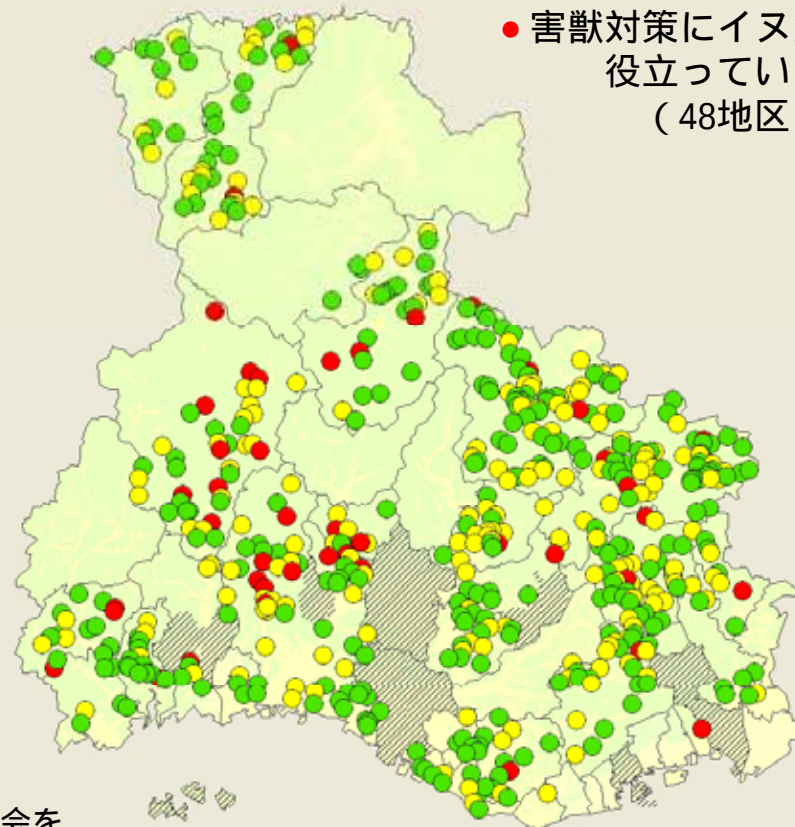
害獣対策のためにイヌを飼って
○ いる
× いない

集落単位でのアンケートを実施できなかった市区町
市区町単位で回答
回答なし



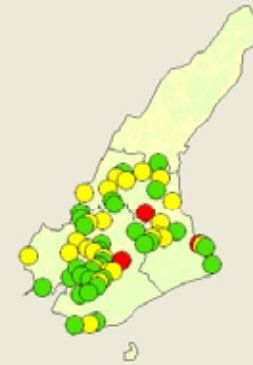
2005年兵庫県3346農会を
対象としたアンケート
（有効回答数2241）

● 害獣対策にイヌが
役立っている
（48地区）



イヌの効果
● ある
● 場合によってはある
● ない

集落単位でのアンケートを実施できなかった市区町
市区町単位で回答
回答なし



■ 被害対策へのイヌ利用の可能性（事前調査の結果）

		役立っていない	役立つ場合もある	役立っている	総計
獣害対策のために	いる	37	80	45	162
犬を飼っている人が	いない	294	143	3	440
	総計	331	223	48	602

（数字は集落数）

（効果の内容）

- イヌがいると獣が近づかない、追い払う、被害が少ない。 72地区

（吠える犬がいればという条件を言う地区が多い）

- 獣の接近を知らせる。 19地区

- 狩猟や有害捕獲に役立つ。 39地区

一方で

- 犬が吠えない。 吠えても逃げない。 イヌが畑を荒らす。 と言う、声もある。

→ 適切な手法開発の必要性和技術開発の余地が十分にあると判断。

野生動物追い払い犬育成の流れ

- 県のガイドラインの作成
- 説明会の開催 事業内容や候補犬の公募について説明
- アンケート調査の実施 地域の意向を確認
- 候補犬の公募と選定
 - 犬種、年齢、性格、飼い主の状況などから選定
- 講習会での訓練の実施
 - 訓練士による月3回程度、4ヶ月間の講習会と
- 飼い主による毎日の自主訓練の実施
- 成果テストと町の認定 ← 県のガイドライン作成
- 実際の活動
- アフターフォロー、情報交換会、手法の改善

説明会の開催



行動テスト



講習会型訓練



服従訓練成果テスト

実地訓練



認定式



追い払いの実施

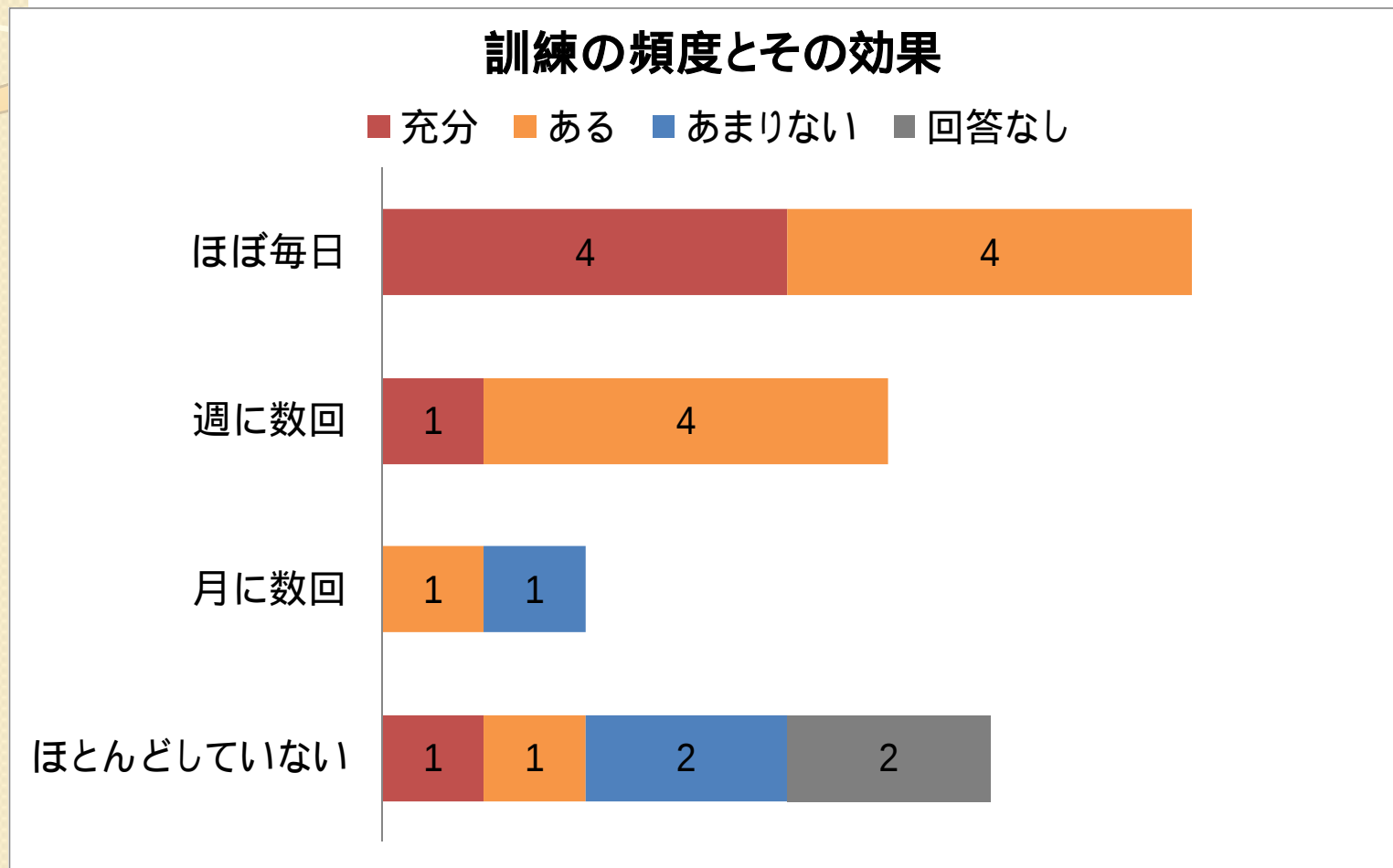


農業者自身がイヌの訓練する方法の採用

- なぜ講習会型の訓練を選択したのか -

- **人任せではない自主的な訓練としつけが重要**
 - 使用者がイヌの管理の知識と能力を持つべき
 - 継続的な訓練と管理が必要
- **コストが低く、たくさんのイヌの育成が可能**
 - 訓練所への預け入れは1頭20～25万(先行事例)
 - 講習会型の農家による訓練では12頭まで約70万(1頭あたり6万)
 - 訓練技術を身につけた参加者は次のイヌも自分で育成できる
- **イヌの管理は害獣の管理に通じる**
 - イヌも害獣も、行動矯正への理解には共通するものもある
 - 獣害対策への姿勢と意気込みを高める

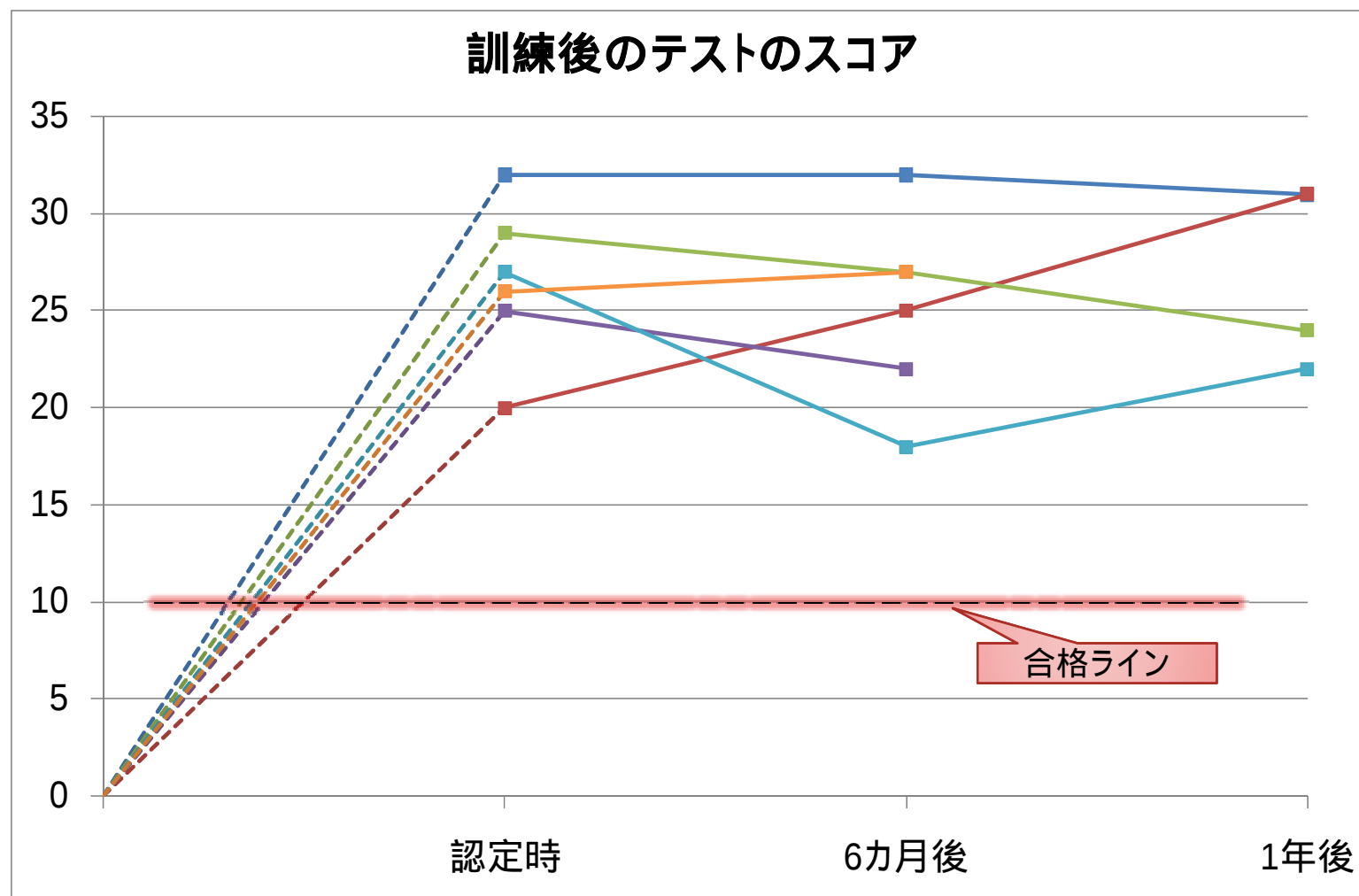
実際にどの程度訓練をして、 どの程度の効果があるのか？



- きちんと訓練をすれば効果は上がる。

全国の対策実施者22人への
アンケート調査結果

訓練の効果を持続できるか？



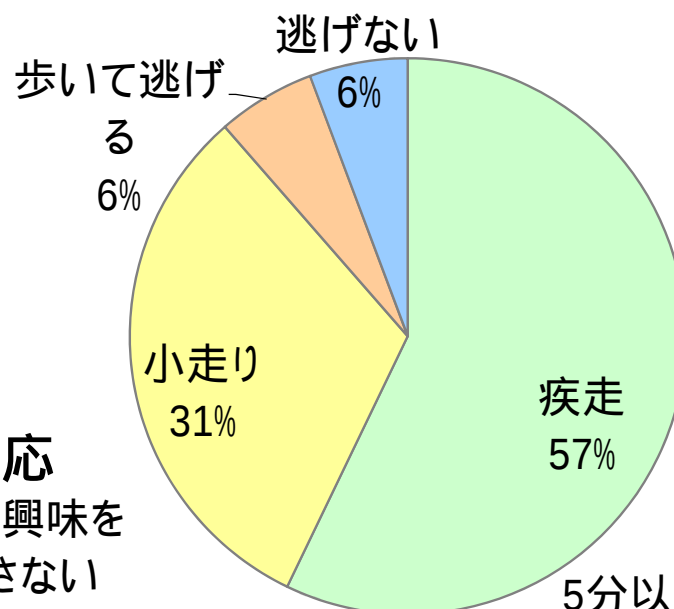
- 訓練の効果は維持できていた。

兵庫県香美町における実績

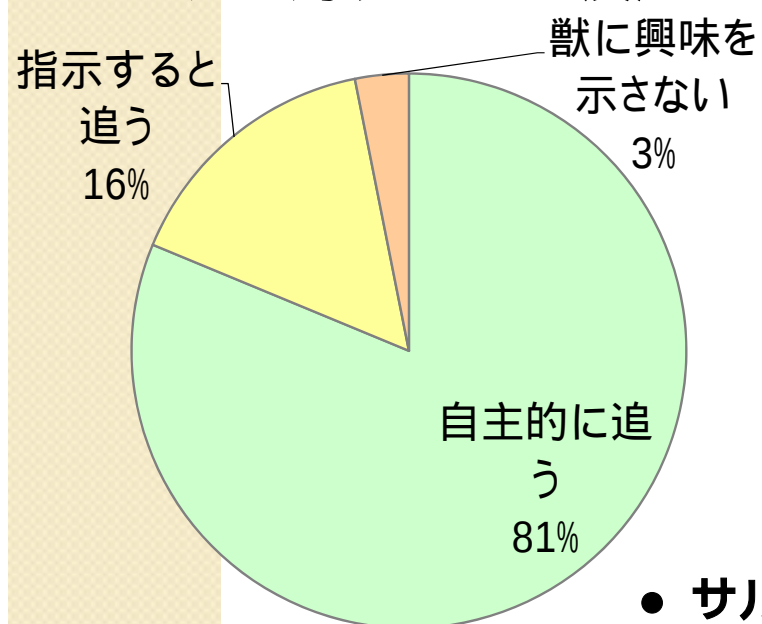
追い払い実施状況

兵庫県香美町における38件の対策記録より

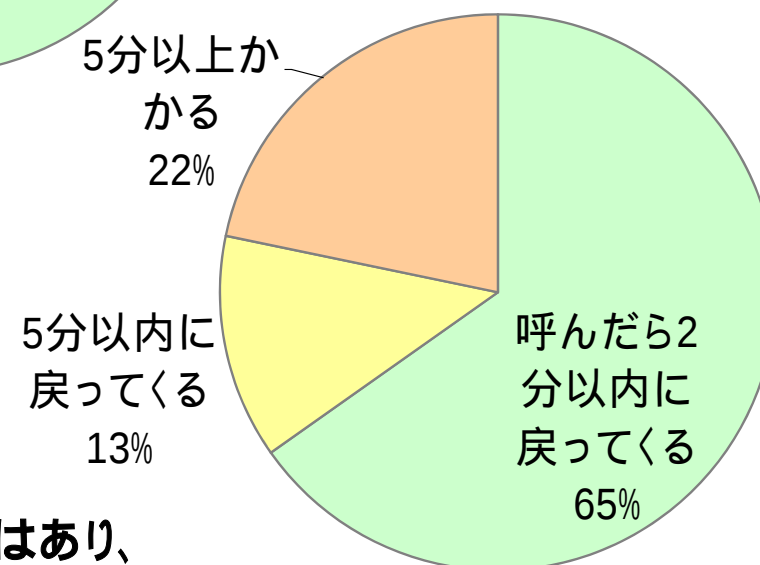
犬に追われたサルの反応



サルに対するイヌの反応

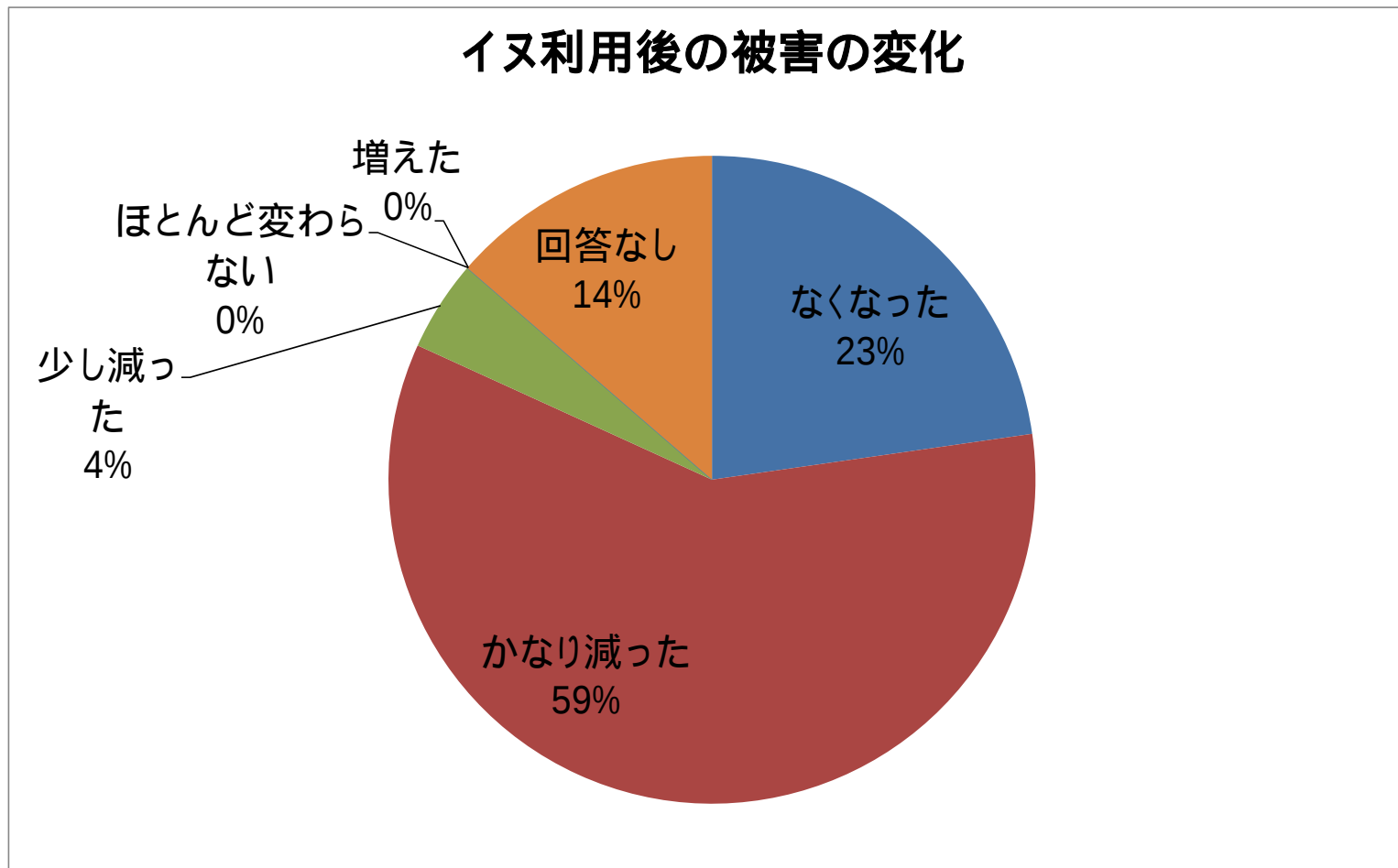


呼び戻しにかかった時間



- サルを追い払う効果はあり、イヌの呼び戻しもうまくいっている。

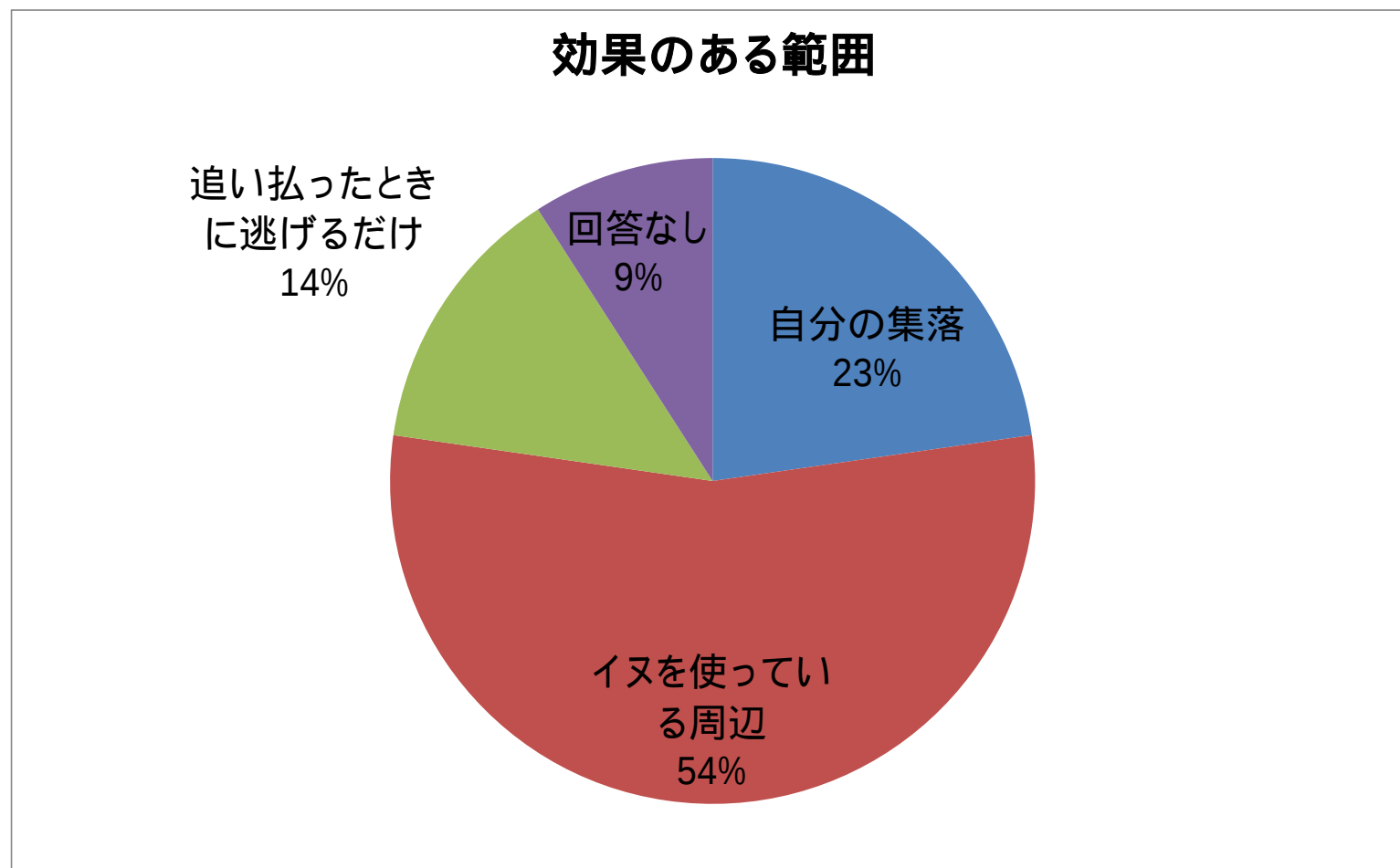
イヌを利用して被害は減ったか？



- イヌを導入したことによって、被害も減っているという感想が多い。

全国の対策実施者22人へのアンケート調査結果

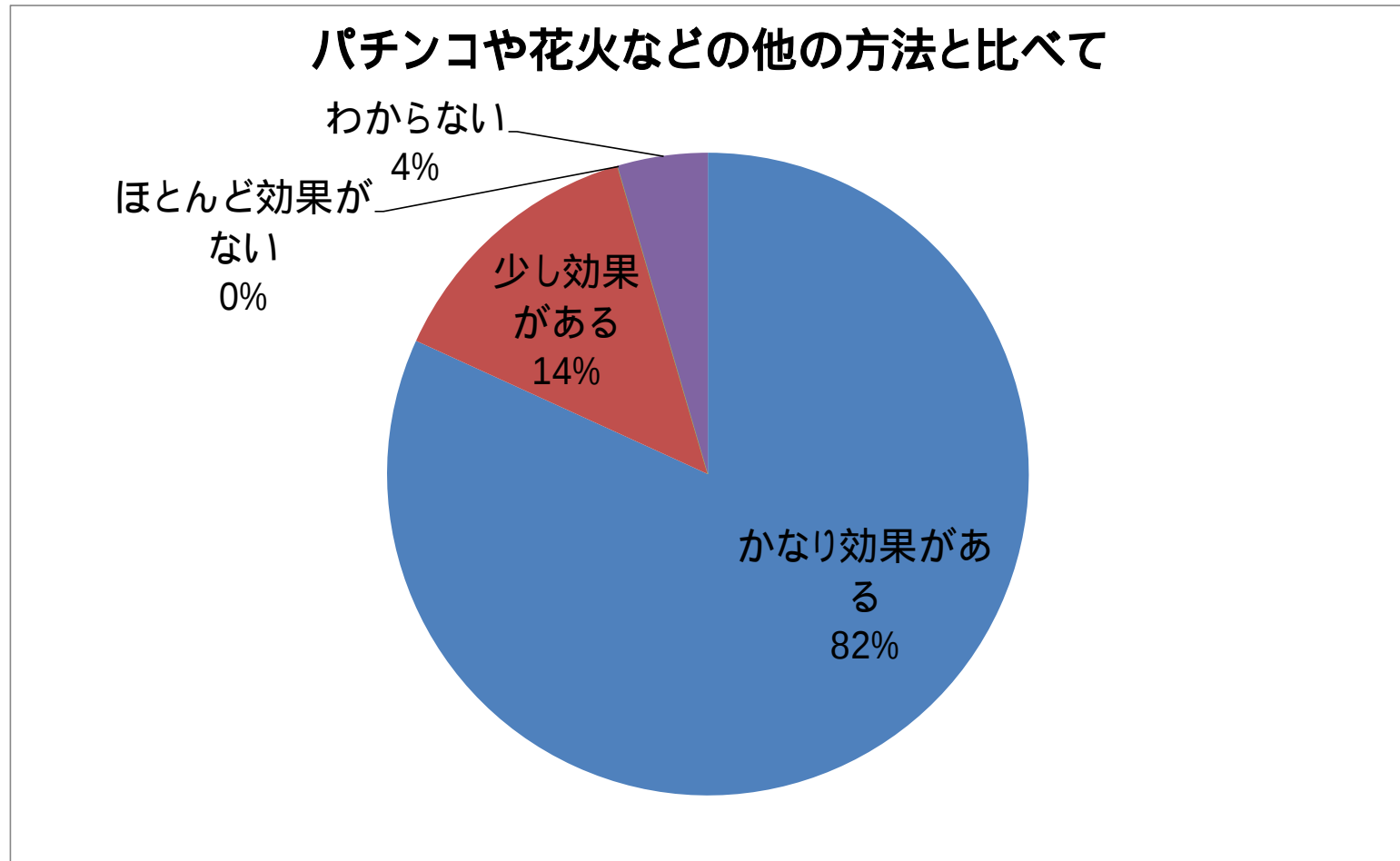
どの程度の範囲で効果があるのか？



- 集落全体を守れるわけではなく、効果はイヌを使っている周辺に限定される。

全国の対策実施者22人へのアンケート調査結果

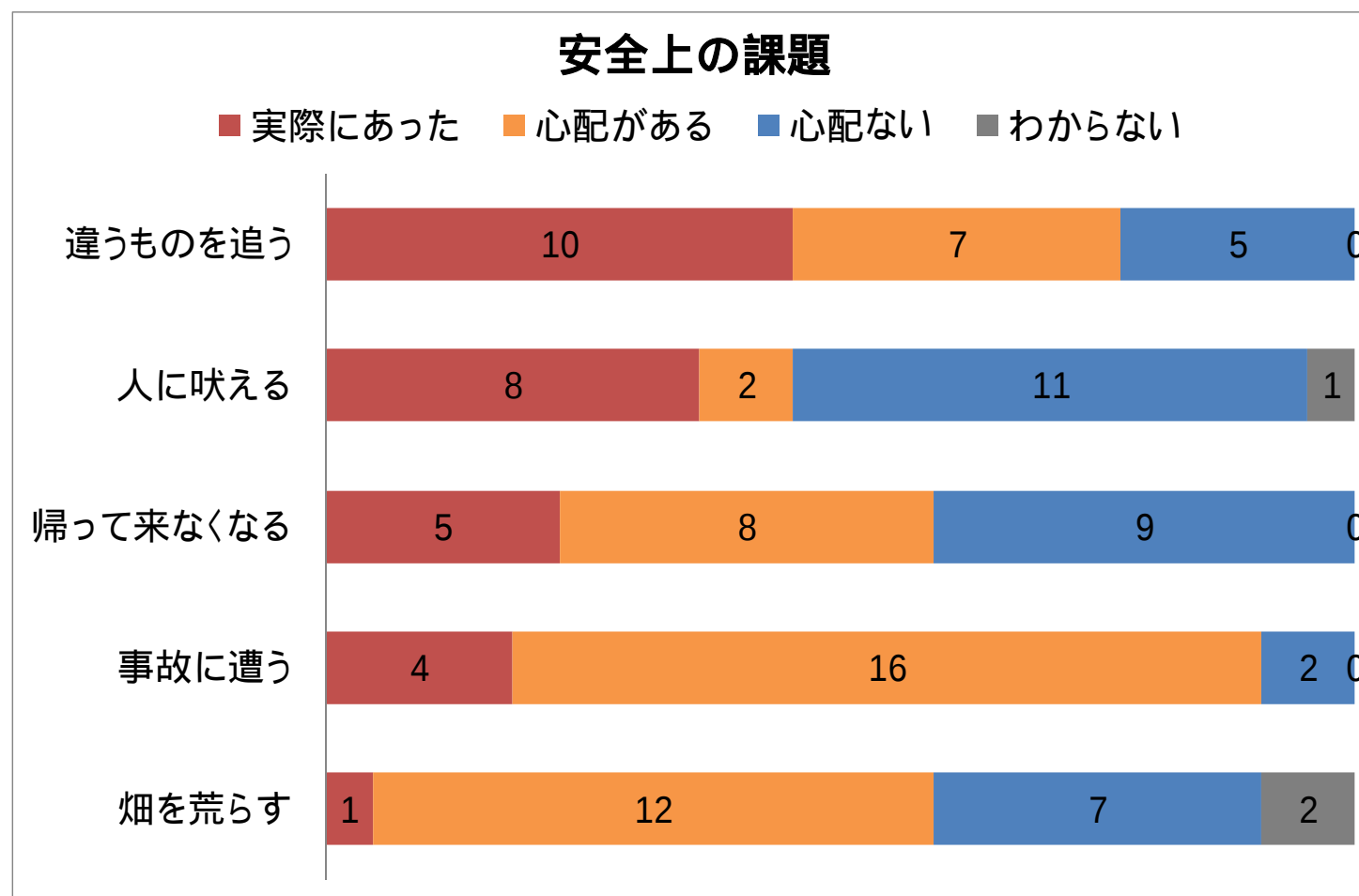
他の方法と比べて効果が高いのか？



- 他の方法と比べても効果があるという感想が多い。

全国の対策実施者22人へのアンケート調査結果

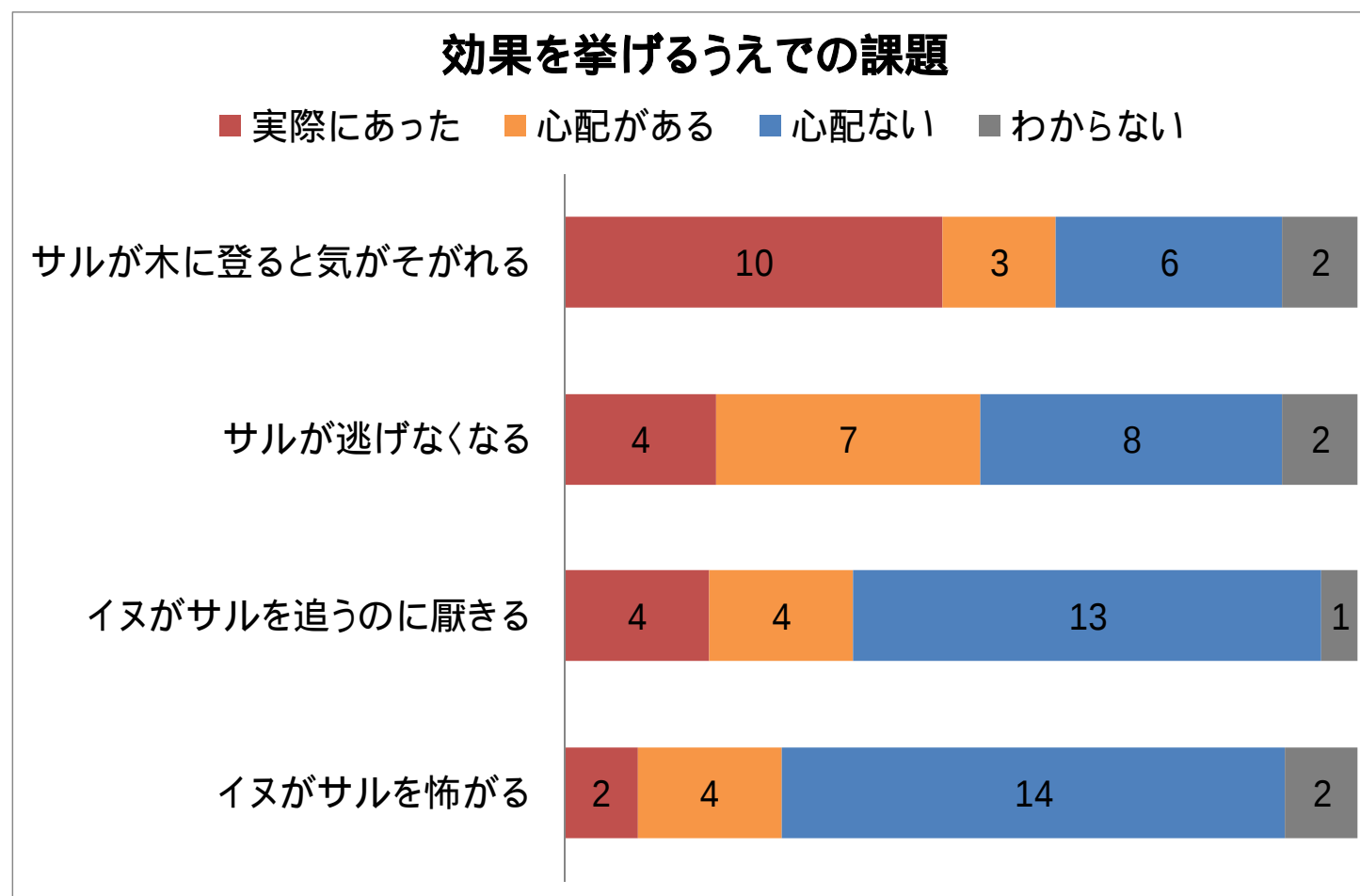
実施に当たっての心配や課題 (安全性に関すること)



- 対策実施者が抱える安全上の不安は多く、これらに対する注意と対応策を検討しておく必要がある。

全国の対策実施者22人へのアンケート調査結果

実施に当たっての心配や課題 (追い払いの効果に関すること)



- イヌにも様々な限界があり、状況に応じて電動ガンや花火などを用いた人の補助も必要。

全国の対策実施者22人へのアンケート調査結果

追い払い犬を活用する上での 苦労や要望

(自由記入欄より)

- 苦になることもある。
- 片手間では難しい。
- 地域の期待が大きすぎる。
- 仕事があるときは出られない。
- 少数では対応しきれない。
- イヌ活用の前に基本的な対策はして欲しい。
- 認定や看板、費用の補助などが欲しい。
- 有効なイヌであれば認定して欲しい。

全国の対策実施者22人へ
のアンケート調査結果

効果的な運用に向けての工夫や改善点

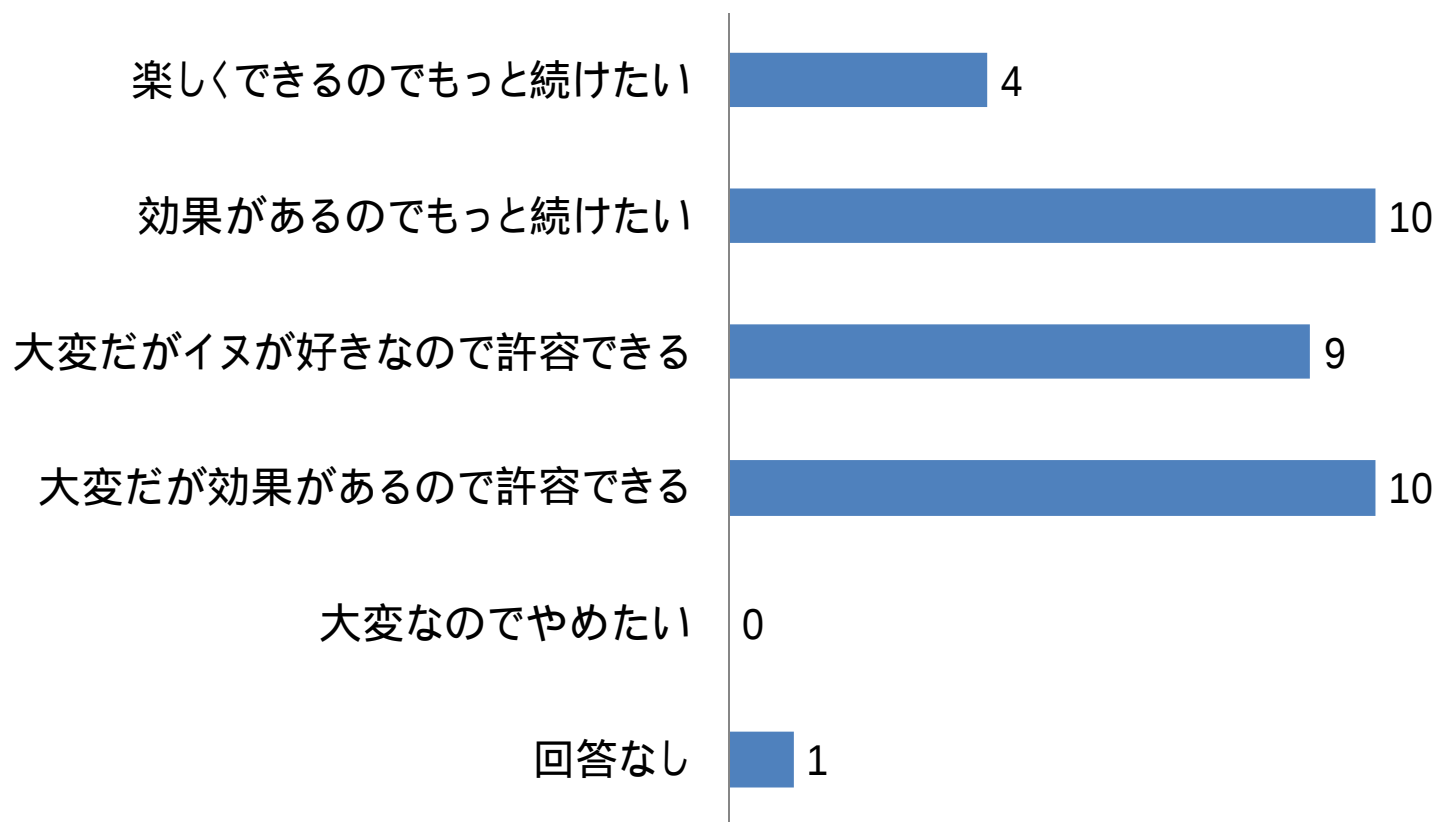
(自由記入欄より)

- 人も一緒に追うべき。
- 銃や電動ガンとの併用。
- 出る時期をみて連れ回る。
- 普段から訓練。
- 全体の被害軽減には、頭数を増やす必要。

全国の対策実施者22人へのアンケート調査結果

続けていける対策なのか？

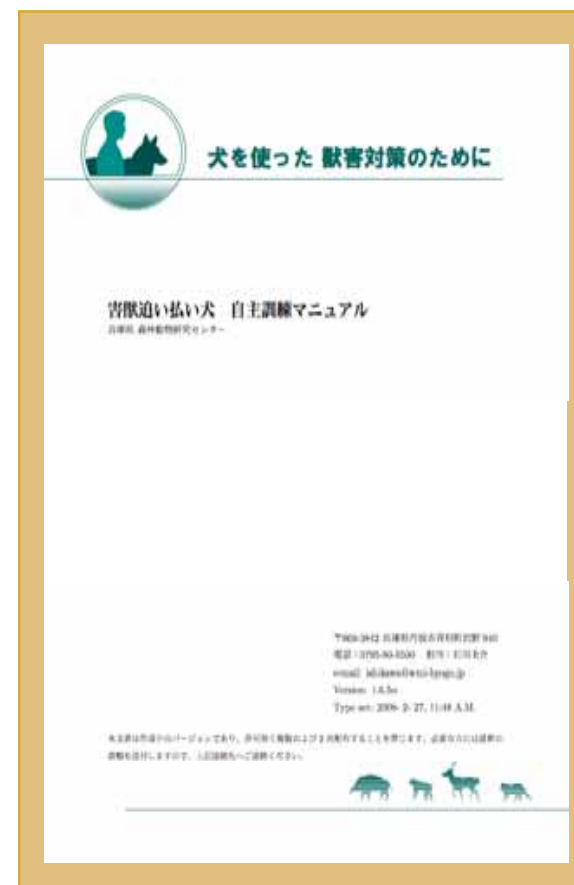
イヌを使って見た印象(複数回答)



- 相応の効果もあり、イヌの訓練や活用に興味のある人も多いことから、
継続して実施していくことのできる方法であると考えられる。 全国の対策実施者22人へのアンケート調査結果

実地検証にもとづくマニュアル

- 飼主むけ
 - 「飼育管理マニュアル」
 - 「自主訓練マニュアル」
 - 「運用マニュアル」
 - 「よくある質問とその回答」
- 行政むけ
 - 「候補犬選定マニュアル」
 - 「訓練効果測定マニュアル」
 - 「実地訓練マニュアル」



- 以上のマニュアルの作成には、兵庫県香美町の皆様、阪神警察犬訓練所の協力を頂きました。
加えてアンケート調査には、長野県大町市、長野県南木曽町、高知県中土佐町の対策実施者の皆様のご協力を頂きました。